

## 令和2年度事業シート

(一般会計・災害復旧費)

款	項	目	細目	予算事業名	部署名	頁
11	1	1	1	林道災害復旧事業	農林水産課	1
11	1	2	1	農地農業用施設補助災害復旧事業	農林水産課	3
11	2	1	1	土木施設災害復旧事業	都市建設課	5
11	2	1	99	土木施設災害復旧事業（繰越分）	都市建設課	7



事業シート (概要説明書)

予算事業名	林道災害復旧事業	事業開始年度				
上位施策事業名	林道の整備	担当課名	農林水産課			
根拠法令等	林道規程、道路構造令、道路土木指針	係名	農林土木係			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	真田洋司			
実施の背景	林道川谷線において、平成29年度に路肩が崩落したものの林道施設災害復旧工事					
目的 (何をどうしたいのか)	崩落した林道の復旧工事を行うことにより、利用者の安全を確保する。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	林道利用者	対象者数 (全住民に対する割合) 32290 人 ( 100 % )			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 ( 委託先又は指定管理者 )				
		<input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) ( 補助先 実施主体: )				
		<input type="checkbox"/> 貸付 ( 貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標			
	道路災害復旧工事	1298	復旧工事			
関連事業 (同一目的事業等)						
コスト		R2年度 (予算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	H29年度 (決算)	
	事業費合計	千円	1,298 千円	千円	千円	
	事業費内訳 R元年度	【工事請負費】 林道災害復旧工事 1,298,000円				
	人件費	担当正職員	0 人 千円	0.2 人 1,120 千円	0 人 千円	0 人 千円
		臨時職員等	0 人 千円	0 人 千円	0 人 千円	0 人 千円
		人件費合計	0.0 人 0 千円	0.2 人 1,120 千円	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円
総事業費	0 千円	2,418 千円	0 千円	0 千円		
財源 内訳	国県支出金	千円	519 千円	千円	千円	
	国県支出金の内容 県単林道災害復旧事業補助金					
	地方債	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	
	その他特財の内容					
一般財源	0 千円	1,899 千円	0 千円	0 千円		
財源合計	0 千円	2,418 千円	0 千円	0 千円		

事業番号

予算科目  
(款項目) 11 - 1 - 1

令和2年度

事業シート (概要説明書)						
予算事業名		林道災害復旧事業			事業開始年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R元年度	H30年度	H29年度
		林道災害復旧	箇所	1 / 1	/	/
				/	/	/
				/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	林道復旧箇所	円	2,418
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	林道の災害復旧箇所を指標とする。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R元年度	H30年度	H29年度
		林道災害復旧	箇所	1/1	/	/
				/	/	/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の 方向性、課題等					
	比較参考値 (他自治体での類似 事業の例など)					
	特記事項					

事業番号

予算科目  
(款項目) - -

令和2年度

事業シート (概要説明書)

予算事業名	農地農業用施設補助災害復旧事業		事業開始年度			
上位施策事業名			担当課名	農林水産課		
根拠法令等	農林水産業施設復旧事業国庫補助の暫定措置に関する法律		係名	基盤整備推進係		
事務区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	田中仁之		
実施の背景	台風15号、19号及び21号に伴う暴風雨により被災した農地及び農業用施設の復旧事業を国の補助を受け実施するもの。					
目的 (何をどうしたいのか)	被災した農地及び農業用施設の復旧する。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市内農業者		対象者数 (全住民に対する割合) 3190 人 ( 9.88 % )		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 ( 委託先又は指定管理者 )				
		<input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) ( 補助先 実施主体: )				
		<input type="checkbox"/> 貸付 ( 貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標		
関連事業 (同一目的事業等)						
コスト		R2年度 (予算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	H29年度 (決算)	
	事業費合計	16,000 千円	0 千円			
	事業費内訳 R元年度	令和2年度に予算繰越				
	人件費	担当正職員	0.4 人 2,241 千円	0.2 人 1,120 千円		
		臨時職員等				
		人件費合計	0.4 人 2,241 千円	0.2 人 1,120 千円	0.0 人 0 千円	0.0 人 0 千円
	総事業費	18,241 千円	1,120 千円	0 千円	0 千円	
財源 内訳	国県支出金	7,551 千円				
		国県支出金の内容				
	地方債					
	その他特財					
		その他特財の内容				
一般財源	10,690 千円	1,120 千円	0 千円	0 千円		
財源合計	18,241 千円	1,120 千円	0 千円	0 千円		

事業番号

予算科目  
(款項目) - -

令和2年度

事業シート (概要説明書)

予算事業名		農地農業用施設補助災害復旧事業			事業開始年度		
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R元年度	H30年度	H29年度
					/	/	/
					/	/	/
					/	/	/
	単位当たりコスト	総事業費	/	円			
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)						
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R元年度	H30年度	H29年度
					/	/	/
					/	/	/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の 方向性、課題等						
比較参考値 (他自治体での類似 事業の例など)							
特記事項							

事業シート (概要説明書)

予算事業名	土木施設災害復旧事業		事業開始年度	平成16年度		
上位施策事業名	-		担当課名	都市建設課		
根拠法令等			係名	維持係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	鈴木 一雄		
実施の背景	異常な天然現象に起因して被災した公共土木施設について、再度災害や被害の拡大を防止するため、迅速な対応を行う。					
目的 (何をどうしたいのか)	被災した道路や河川等の公共土木施設を復旧する。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民 (道路利用者、河川流域住民)		対象者数 (全住民に対する割合)		
				32290 人 ( 100 % )		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 測量業者、土木工事業者)				
		<input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) (補助先 実施主体: )				
<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費		活動指標	
	災害復旧国庫負担申請で必要となる災害査定設計書を作成するための測量業務委託 (河川8箇所、道路18箇所)		12,628	千円		
	災害復旧国庫負担申請で必要となる災害査定設計書を作成するための設計業務委託 (道路1箇所)		7,700	千円		
	実施設計書を作成するための資材の価格調査 (道路1箇所)		319	千円		
	災害応急仮工事の実施 (道路1箇所)		682	千円		
			千円			
関連事業 (同一目的事業等)	道路橋梁維持補修事業、河川維持補修事業					
コスト		R2年度 (予算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	H29年度 (決算)	
	事業費合計	0 千円	21,329 千円	8,369 千円	32,527 千円	
	事業費内訳 R元年度	測量委託料 (26箇所) 12,628千円、設計委託料 (1箇所) 7,700千円、設計監理委託料 (1箇所) 319千円、工事請負費 (1箇所) 682千円				
	人件費	担当正職員	1.70 人 9,523 千円	1.20 人 6,722 千円	1.7 人 9,523 千円	0.8 人 4,202 千円
		臨時職員等	人 千円	0.0 人 千円	0.0 人 千円	人 千円
		人件費合計	1.7 人 9,523 千円	1.2 人 6,722 千円	1.7 人 9,523 千円	0.8 人 4,202 千円
	総事業費	9,523 千円	28,051 千円	17,892 千円	36,729 千円	
	財源内訳	国庫支出金	0 千円	4,331 千円	4,508 千円	9,091 千円
			国庫支出金の内容 現年発生補助災害復旧負担金、災害復旧事業査定設計委託費等補助金			
		地方債	0 千円	200 千円	2,200 千円	4,500 千円
その他特財		0 千円	0 千円	千円	0 千円	
		その他特財の内容				
一般財源	9,523 千円	23,520 千円	11,184 千円	23,138 千円		
財源合計	9,523 千円	28,051 千円	17,892 千円	36,729 千円		

事業シート (概要説明書)

予算事業名		土木施設災害復旧事業			事業開始年度	平成16年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)	単位	R元年度	H30年度	H29年度
		-		/	/	/
		小規模被災箇所を修繕料で復旧する	箇所	0 / 0	0 / 0	93 / 93
		被災箇所を災害復旧事業で復旧する	箇所	1 / 1	5 / 5	10 / 10
	単当たりコスト	工事請負費 / 箇所数	千円	682	3,393	4,163
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	災害復旧事業は、被災した公共土木施設を速やかに復旧させ、再度災害や被災の拡大の防止のために迅速な対応が求められる。そのため、災害査定にて復旧が可能となった施設については、早期の工事発注を行う。				
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)	単位	R元年度	H30年度	H29年度
		被災した年度内に工事発注を行う	箇所	21 / 26	5 / 5	10 / 10
						/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充				
	今後の事業の方向性、課題等	災害復旧事業は、業務量を予定することができなく突発的に発生するものであるため、職員にかなり負担となる。災害査定までの間、ほぼ毎日時間外勤務となるため、決まった職員が長時間残業することがないよう係を超えて共同で事務に取り組んでいる。また、予算面では起債充当率が過年災となると下がってしまうため、現年での早期工事発注が必要となる。 維持系の通常業務も並行して行わなくてはならないため、災害の発生件数が多くなれば、必然的に時間外勤務も増えてしまう。業務の平準化が難しい。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)						
特記事項		小規模な被災個所の復旧を行う修繕料においては、道路橋梁維持補修事業(災害経費)、河川維持補修事業(災害経費)へ移行された。				

事業シート (概要説明書)

予算事業名	土木施設災害復旧事業 (繰越分)		事業開始年度	平成16年度		
上位施策事業名	-		担当課名	都市建設課		
根拠法令等			係名	維持係		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		作成責任者	鈴木 一雄		
実施の背景	異常な天然現象に起因して被災した公共土木施設について、再度災害や被害の拡大を防止するため、迅速な対応を行う。					
目的 (何をどうしたいのか)	被災した道路や河川等の公共土木施設を復旧する。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民 (道路利用者、河川流域住民)		対象者数 (全住民に対する割合)		
				32290 人 ( 100 % )		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 測量業者、土木工事業者)				
		<input type="checkbox"/> 補助金 ( <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 ) (補助先 実施主体: )				
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先: ) <input type="checkbox"/> その他 ( )					
事業内容 (手段、手法など)	事業内容 (箇条書き)		事業費		活動指標	
	査定結果を基にした災害復旧工事の実施 (河川2箇所、道路3箇所)		10,207	千円	被災箇所を災害復旧事業で復旧する	
				千円		
				千円		
				千円		
関連事業 (同一目的事業等)	道路橋梁維持補修事業、河川維持補修事業					
コスト		R2年度 (予算)	R元年度 (決算)	H30年度 (決算)	H29年度 (決算)	
	事業費合計	245,197 千円	10,207 千円	28,001 千円	32,527 千円	
	事業費内訳 R元年度	工事請負費 (5箇所) 10,207千円				
	人件費	担当正職員	0.45 人 2,521 千円	0.30 人 1,681 千円	0.3 人 1,681 千円	0.8 人 4,202 千円
		臨時職員等	人 千円	0.0 人 千円	0.0 人 千円	人 千円
		人件費合計	0.5 人 2,521 千円	0.3 人 1,681 千円	0.3 人 1,681 千円	0.8 人 4,202 千円
	総事業費	247,718 千円	11,888 千円	29,682 千円	36,729 千円	
財源内訳	国県支出金	152,537 千円	6,634 千円	17,698 千円	9,091 千円	
		国県支出金の内容 現年発生補助災害復旧負担金 (繰越分)				
	地方債	0 千円	3,500 千円	8,800 千円	4,500 千円	
	その他特財	0 千円	73 千円	千円	0 千円	
		その他特財の内容 繰越事業費等充当財源繰越額				
一般財源	95,181 千円	1,681 千円	3,184 千円	23,138 千円		
財源合計	247,718 千円	11,888 千円	29,682 千円	36,729 千円		

事業シート (概要説明書)							
予算事業名		土木施設災害復旧事業 (繰越分)			事業開始年度	平成16年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)		単位	R元年度	H30年度	H29年度
		-			/	/	/
		小規模被災箇所を修繕料で復旧する		箇所	0 / 0	0 / 0	93 / 93
		被災箇所を災害復旧事業で復旧する		箇所	5 / 5	9 / 9	10 / 10
	単当たりコスト		工事請負費	/ 箇所数	千円	2,041	4,029
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	災害復旧事業は、被災した公共土木施設を速やかに復旧させ、再度災害や被災の拡大の防止のために迅速な対応が求められる。そのため、災害査定にて復旧が可能となった施設については、早期の工事発注を行う。(現年災の地方債起債充当率は100%だが、過年災は90%に落ちてしまう)					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)		単位	R元年度	H30年度	H29年度
		被災した年度内に工事発注を行う		箇所	5 / 5	9 / 9	10 / 10
							/
事業の自己評価	自己評価 (担当課による評価)	<input type="checkbox"/> 不要・凍結 <input type="checkbox"/> 国・県・広域が実施 <input type="checkbox"/> 要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり・拡充					
	今後の事業の方向性、課題等	災害復旧事業は、業務量を予定することができなく突発的に発生するものであるため、職員にかなり負担となる。災害査定までの間、ほぼ毎日時間外勤務となるため、決まった職員が長時間残業することがないよう係を超えて共同で事務に取り組んでいる。 維持系の通常業務も並行して行わなくてはならないため、災害の発生件数が多くなれば、必然的に時間外勤務も増えてしまう。業務の平準化が難しい。					
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)							
特記事項							